

“夏本番”

# 海のつどい大会

# ひるば



うつつらしい梅雨が明けた7月20日「海の日」、真夏の太陽が照りつける屋  
形海岸で恒例の「海のつどい大会」が開催されました。  
会場では、地曳網や宝探し、カヌー体験など盛り沢山の催しが行われ、夏休  
みを楽しむ親子の歓声が響き渡りました。

## 海岸清掃・安全祈願祭



海水浴シーズンを目前に控えた7月6日、町ボラ  
ンティア連絡協議会や婦人会、船主、ペンション民  
宿組合、町建設協会の皆さんにより海岸清掃が行わ  
れました。

また、7月13日には、實川町長、石井観光協会  
長をはじめ多数の関係者出席のもと海岸安全祈願祭  
が行われ、今シーズンの無事を祈りました。



## 句碑「稲架のつづぎに」建立

当町北清水出身の俳人、伊藤  
白潮さんの句碑が故郷の地、九  
十九里浜（マリニピア栗山川）  
に建立され、7月16日除幕式が  
行われました。

句碑に刻まれた「稲架のつづ  
きに母ありひびく海もあり」は、  
ふるさと恋い、母恋いを詠んだ  
一句で、文字通り、ひびく海を  
望む九十九里浜の一角に句碑が  
建立されました。今後、文化の  
モニュメントとして永く継承さ  
れることでしょう。